



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

平成26年(2014年)
5月21日
水曜日
第132号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyouju_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

高校生が彩る 浜名湖花博2014と 県庁窓辺の花



日頃の学びの成果を作品で披露

自分たちが学んだ栽培技術と農業にかける思いを披露しています。孟宗竹のオブジェの周囲は、この季節では珍しいヒマワリ(ミニ)や、スイート・アリッサムなど、期間を通じて4種8400株の草花が植えられます。使用する草花はオブジェは、昨年の秋から農業高校生が栽培、作成したものです。花博の期間中、前期と後期で花の入れ替えを行います。季節に応じた花を飾ります。ゴールデンウィークまでの前期は、磐田農業、静岡農業、富岳館、藤枝北高校が担当し、後期は、田方農業、小笠引佐、浜松大平台、遠江総合高校が担当します。孟宗竹のオブジェは、静岡農業、下田高校南伊豆分校、天竜高校が制作し

ました。是非、皆さんも、浜名湖花博の会場に足を運び、これからの県の園芸や造園などの産業を担う農業高校生が手がけた展覧作品を御覧ください。

県庁来館者を花で出迎え(県庁窓辺の花) 県では農業関係高校と農林大学校に依頼して、県庁本館80か所の窓辺を飾る季節の花コンテナを設置しています。担当校は、昨年度からは正面玄関にコンテナを飾る取組もスタートしました。農業を学ぶ高校生たちは、自ら育てた草花等を使った作品を多くの人に鑑賞していただくことで、園芸のやりがいを実感するとともに、職業観も醸成されていきます。そして、何より農業を学

庭のテーマは「勢い・自立」(浜名湖花博) 連日多くの来場者で賑わう「浜名湖花博」。皆さんはもう御覧になりましたか。浜名湖ガーデンパーク会場内の「にぎわいの庭」コーナーに県内の農業関係の高校生が

季節の花を「足早く」 会場では農業高校生が

県庁来館者を花で出迎え(県庁窓辺の花) 県では農業関係高校と農林大学校に依頼して、県庁本館80か所の窓辺を飾る季節の花コンテナを設置しています。担当校



県庁本館窓辺に飾られた花々

は1シーズンにコンテナ160個分の花を栽培します。飾る花は、4月は静岡農業高校と引佐高校のペゴニア、7月は浜松大平台高校と農林大学校のフイニア、10月は下田高校南伊豆分校、富岳館高校、遠江総合高校のペゴニア、12月は田方農業高校、藤枝北高校のカレンジュラ、2月は磐田農業高校と小笠引佐高校のパンジーです。また、昨年度からは正面玄関にコンテナを飾る取組もスタートしました。農業を学ぶ高校生たちは、自ら育てた草花等を使った作品を多くの人に鑑賞していただくことで、園芸のやりがいを実感するとともに、職業観も醸成されていきます。そして、何より農業を学

ぶ高校生が育てた花は、来館者や職員に元気を与え続けています。

教育を取り巻く時代の潮流 本県教育への新たな要請(抜粋) 東日本大震災の教訓に学ぶ教育の推進 いじめ問題への対応、体罰の根絶 全国学力・学習状況調査の結果の活用 キャリア教育、職業教育等の実学の奨励 グローバル人材の養成、英語教育の充実 SNSの発展に対応した情報モラル教育の促進 世界遺産富士山の後世への継承 市町教育委員会の主体制の向上

静岡県の教育の現状と課題 第2期計画の期間における重点課題(抜粋) 「命を守る教育」の推進 頼もしい教職員の養成 小1プロブレムへ対応する幼児教育の充実 生きる力の基礎となる「確かな学力」の育成 異文化理解、国際交流の推進 高等教育の充実 コミュニティ・スクールの設置に向けた検討 富士山などの自然を活用した学習の推進

教職員のための 子どもの命を守るアクション 危機対応BOOK

～教職員のための危機対応BOOK配付しました～

こんな時どうする?今そこにある危機 「みなさん!机の下に隠れなさい!」

防災訓練ではおなじみの台詞ですが、実際に大きな地震が起きた時、私たちは本当に子どもたちに適切な指示を出すことができるでしょうか?

子どもの命を守るアクション

今回配付した「危機対応BOOK」は、
○地震・津波発生時の対応 ○竜巻・雷・局地的大雨発生時の対応
○意識が無い者への対応及び心肺蘇生法 ○校内防災情報
の大きく四つの項目から構成されています。

実際に目の前で子どもが倒れたときや、急な天候の変化で雷や竜巻に遭遇したとき、マニュアルを探している時間はありません。それぞれの現場で子どもたちを守るための判断が迫られます。

「危機対応BOOK」は、全ての教職員が身に付けておくべき「指示・ポイント・行動」を簡潔に示すために、あれもこれも盛り込みたくない気持ちをぐっと抑え、有識者のアドバイスのもと、「どこまで内容を絞りこんでも、危機対応に支障が無い」検討を重ねて作成しました。

校内防災情報で危機対応BOOKをカスタマイズ

「危機対応BOOK」には、「校舎配置図」を貼り、AEDの場所や避難経路、緊急時連絡先などを自由に書き込むための「校内防災情報」のページがあります。必要情報を追加することで、個人としての初動対応と組織としての危機管理を結びつけることができます。

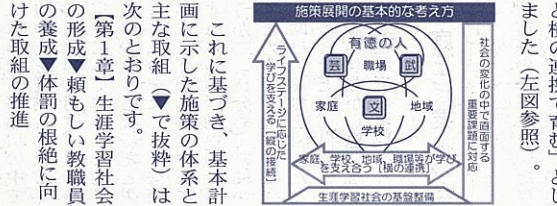
リーフレットも活用

「危機対応BOOK」がテレビや新聞で紹介されたところ、介護施設の方や、自主防災組織の方からも「是非欲しい!」とのお問い合わせをいただきました。県教育委員会のホームページに、同冊子のリーフレット版が掲載されていますので、防災訓練や学校行事等で是非御活用ください。



問 教育総務課健康安全教室 054(221)3677

「有徳の人」とは
①自らの資質・能力を伸ばし、個人として自立した人
②多様な生き方や価値観を認め、人の関わり合いを大切にすること、個人として参画し、行動する人
③社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人



これに基づき、基本計画に示した施策の体系と主な取組(▼で抜粋)は、次のとおりです。
【第1章】生涯学習社会の形成▼頼もしい教職員の養成▼体罰の根絶に向けた取組の推進

静岡県教育振興基本計画第2期計画における施策の方向性

静岡県教育振興基本計画「有徳の人」づくりアクションプラン」第2期計画の基本目標は、当初計画と同じ「有徳の人」の育成です。
これらの要請に込めるためには、家庭・学校・地域・職場が連携した、社会総がかりによる取組が必要です。
そこで、文・武・芸の三道の鼎立により「有徳の人」を総合的に育成するため、施策展開の基本となる考え方を「縦の接続と横の連携で育む」としました(左図参照)。

工場と農場の架け橋が作る 意欲たつぷり充実野菜

静岡県立引佐高等学校 教諭 新井淳一
教諭 鈴木浩

「まったくIT化されていない！」プロジェクトに取り組んだ工業系列の生徒は驚きます。

本校は農業と工業に関する系列を併設しています。同じ学校でありながら、お互い教科の内容をあまり知らないのが現状です。

例年ハクサイなどを食ら荒らすハスモンヨトウという方の幼虫に手を焼いています。せつかく定植した苗をこっそり植

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

「まったくIT化されていない！」プロジェクトに取り組んだ工業系列の生徒は驚きます。

本校は農業と工業に関する系列を併設しています。同じ学校でありながら、お互い教科の内容をあまり知らないのが現状です。

例年ハクサイなどを食ら荒らすハスモンヨトウという方の幼虫に手を焼いています。せつかく定植した苗をこっそり植

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

「まったくIT化されていない！」プロジェクトに取り組んだ工業系列の生徒は驚きます。

本校は農業と工業に関する系列を併設しています。同じ学校でありながら、お互い教科の内容をあまり知らないのが現状です。

例年ハクサイなどを食ら荒らすハスモンヨトウという方の幼虫に手を焼いています。せつかく定植した苗をこっそり植

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

この音を忠実に再現するために工業系列の生徒はプログラムの改良を

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発

両者が連携し、工業系列は活躍の場を工場から農場に移し、3年間に渡る超音波防虫装置の開発



農場での調査

ハスモンヨトウに代表される一部のものは、この最大の天敵から逃れるため、コウモリの超音波を感じ取ることで出来る聴覚細胞を進化させました。接近を知り回避行動を取ることができるようにな



農場に設置した超音波防虫装置

研究成果については、工業では静岡県工業教育研究会主催の生徒研究発表会で静岡県教育委員会教育長賞を、農業では学校農業クラブプロジェクト発表大会で優秀賞をそれぞれいただくことができました。

新学習指導要領の「生きる力」、静岡県が推進する「有徳の人」を実践

富士宮市立上野小学校

資料分析から資料吟味へ

家庭と授業をつなぐワークシート

健康診断の時期になりました。健康診断は受診が義務付けられています。子どもたちの学びを支えるためにも、年に1度は自分の体をチェックしましょう。【福利課】



資料の思いを見取る(筆者中央)

資料分析から資料吟味へ

家庭と授業をつなぐワークシート

健康診断の時期になりました。健康診断は受診が義務付けられています。子どもたちの学びを支えるためにも、年に1度は自分の体をチェックしましょう。【福利課】

健康診断の時期になりました。健康診断は受診が義務付けられています。子どもたちの学びを支えるためにも、年に1度は自分の体をチェックしましょう。【福利課】

ともによりよく 生きようとする 道徳教育の推進

富士宮市立黒田小学校 教諭 深澤 仁美

資料分析から資料吟味へ

健康診断の時期になりました。健康診断は受診が義務付けられています。子どもたちの学びを支えるためにも、年に1度は自分の体をチェックしましょう。【福利課】



農業クラブ大会で受賞(筆者左奥・新井)

意欲たつぷりの生徒が作った充実野菜は学習成果もたつぷり詰まった自慢の品です。これからは基礎を大切にしっかりと時代にあった新しい分野や連携に取り組んでいきたいと思



道徳授業参観親子グループワーク

「自分なら寒い川の中で他の人を優先してなんて言えない。男は、自分を犠牲にして他の人を助けたいから英雄だと思

健康診断の時期になりました。健康診断は受診が義務付けられています。子どもたちの学びを支えるためにも、年に1度は自分の体をチェックしましょう。【福利課】

第2期「ふじのくに」子ども・若者プラン

若者の社会参加若者によるまちづくりの支援

県は、「第2期ふじのくに子ども・若者プラン」を本年3月に策定しました。本プランは、25年度までが計画期間であった「ふじのくに」子ども・若者プランを改定したものです。

この計画を推進することにより、全ての子ども・若者が、社会の能動的な形成者となるための支援を進めます。

また、二ト・ひきこ

若者の社会参加・社会参画に関する施策

第27期静岡県青少年問題協議会の意見具申を受け、「若者によるまちづくり」を改定したものです。

「有徳の人づくり」に魅せられて

鹿児島県教育委員会指導主事 黒川周一



研修生にアドバイスする筆者(中央)

赴任する前、前任の2人の指導主事から、「静岡県の教育行政に関わられたことが大きな財産になっている」と聞き、期待に胸を膨らませて静岡県行き飛行機に搭乗したことが思い出されます。

4月、静岡県での勤務が始まり、最初に印象深く心に刻まれたのが、基本方針に示されていた「有徳の人づくり」のフレーズでした。静岡県が目指すべき教育の真髓が集約された素晴らしいフレーズだと感じました。時間が経過するほど、「有徳の人づくり」の理念が、教育行政の諸施策、学校現場における

支援する取組を推進していくほか、個別ケースを扱う市町を支援していきま。また、県内で実際に社会参画している若者やその団体を講師として招くこと等により、若者が社会参画できる地域づくりの体制づくりを市町に働き掛けていきます。

子ども・若者に関する施策や事業の多くは、その効果がすぐに数値として現れるものではなく、長期的な視点に立つことが大切です。本プランの内容を継続、推進するとともに、社会情勢により変化する県民のニーズに

総合教育センターでは、県の教育が抱える喫緊の課題や学校現場のニーズに対応して、深い見識に基づいた研修が企画運営されており、その充実した取組から多くのことを学びました。特に、ミドルリーダー育成のための「マネジメント研修」や「校内におけるOJT促進研修」に係る研修内容は、鹿児島県でも課題となっており、研修運営の役割を担ったことは、財産となりました。

また、これらの研修に参加していた研修員の熱心な協賛や発表の様子から、真摯に教育に向き合う姿がうかがえて、感銘を受けました。

地域性や教職員の年齢構成は、静岡県と鹿児島県では異なるため、課題等を比較するのは難しい

取組などに色濃く反映されていることを強く感じました。

特に、学校を訪問した際の子どもの挨拶や授業への取組姿勢から、その理念が子どもの姿に具現化されていることにすばらしさを感じました。

静岡県では、最初の3か月を学校教育課で、残りの9か月を総合教育センターで勤務しました。学校教育課では、その業務の多さにもかかわらず、学校現場での経験豊富な指導主事や職員が、多種多様な課題を迅速・的確に判断、処理していただき、静岡県の教育行政の質の高さを感じました。教育行政の組織は、鹿児島と異なっていますが、組織内の連携の在り方など、多くのことを学ばせていただきました。

静岡県と鹿児島県における1年間の人事交流が終了しました。これまで3年間にわたり、自分も含め、3人の指導主事が静岡県の教育行政に関わってきました。

「子ども・若者への情報の提供」などの施策を盛り込みました。

社会的問題に対応 昨今の社会的問題に対応するため、いじめへの対応「命を守る教育」防災教育「発達障害など障害のある子ども」若者への支援「貧困問題への対応」

「子ども・若者の居場所づくり」等に関する施策を加えました。

県では、二ト・ひきこもり・不登校などの子ども・若者とその家族を

支援するため、今後も見直されるため、今後も見直しや新たな事業を推進できよう努めていきます。

「つながるシート」で家庭教育の充実を！

「つながるシート」は、子育てや家庭教育に関する悩みを親同士が「つながる」子育てや家庭教育の悩み

や家庭教育の情報が得られ、悩み等の軽減につながっていきます。また、参加者が「つながるシート」のテーマに沿って、日頃抱えている子育てや家庭教育に関する意見や悩みを交換し合います。

「つながるシート」は、身近な地域の、身近な人たちによる温かい支援の輪が広がることも期待できます。

「つながるシート」は、県のホームページからダウンロードできます。「つながるシート」を使った話合いにぜひ参加してみてください。

☎054(221)3115 社会教育課

若者の社会参加・社会参画に関する施策

若者による実践発表 (各市町社会教育担当者会)

「進路相談」と「体験入学」について (特別支援学校高等部へ進学を希望する方へ)

特別支援学校の高等部は、高等学校と同じように入學に際して募集定員があります。県教育委員会では、各特別支援学校が実施する高等部への進学を希望する中学校や特別支援学校中等部の3年生を対象とした「進路相談」や「体験入学」の結果を踏まえて高等部の入学に係る募集定員を年ごとに策定しています。

「進路相談」や「体験入学」は、高等部の入学に係る募集定員に影響を与えるだけでなく、お子さんが特別支援学校の該当者か、お子さんにとって、高等部教育が最も適しているか、また将来の希望や自分の持っている力などについて、見つめ直す大切な機会となりますので、特別支援学校高等部への進学を希望する方は、7月まで忘れずに受けてください。

「進路相談」や「体験入学」は、在籍する中学校や特別支援学校中等部を通して特別支援学校に申し込んでください。

学校名	進路相談実施日	体験入学実施日
浜松視覚	高等部普通科6/17(火)	高等部専攻科 随時
沼津聴覚	6/17(火)	随時実施
御殿場	6/10(火),12(木),20(金),23(月)	随時実施
沼津	6/13(金),16(月),18(水),20(金),23(月),25(水)	随時実施
伊豆田方分校	6/9(月),10(火),12(木),16(月)	随時実施
豊原分校	6/12(木),16(月),19(水)	随時実施
富士	6/4(水),6(金),11(水),13(金),16(月)	随時実施
富士宮分校	5/19(月),21(水),26(月),6/9(月),11(水),16(月)	随時実施
清水	6/4(水),8(金),18(水),25(水)	随時実施
静岡北	6/5(木),11(水),12(木)	随時実施
南の丘分校	6/2(月)~5(木),9(月)	随時実施
藤枝	6/19(木),20(金),25(水),26(木)	随時実施
焼津分校	5/9(金)	6/25(水),26(木)
吉田	6/27(金),30(月)	随時実施
掛川	6/2(月)~30(月)(土日を除く)学校見学会5/23(金)	随時実施
袋井	6/2(月)~30(月)(土日を除く)学校見学会5/23(金)	随時実施
御前崎分校	6/2(月)~20(金)(土日を除く)*日曜は相談の上、個別に決定する。学校見学会5/21(水)	随時実施
飯田見付分校	6/3(火)~27(金)(土日を除く)*日曜は相談の上、個別に決定する。学校見学会5/29(木)	随時実施
長松	体験入学実施後5/6(13)日まで	5/23(金),27(火)
城北分校	5/19(月)~21(水),23(金),26(月)~28(水)	6/2(月)(午後のみ),3(火) 学校説明会5/9(金)
浜北	5/28(木),29(木)	随時実施
北名	6/4(水)	随時実施
東部	本校生徒は6/17(火)、その他は24(火)	随時実施
伊豆高原分校	6/3(火)	随時実施
伊豆松崎分校	6/18(木)	随時実施
中央	6/2(月)(申込が切5/29(木))	本校生徒は6/18(水)、その他は6/19(木)(申込が切6/12(月))
西部	6/2(月)	相談日にあわせて見学会説明会を実施
天竜	7/2(水)	随時

【特別支援教育課】

総合教育センター
対話Angle

インターネットを効果的に使って

「事前に、話が聞けてよかった」

「研修を受ける目的と自分自身の目標が明確になった」

自分のペースで

「これらは、事前にeラーニングで学習をして、研修に参加した研修員の感想です。」

「eラーニングとは、パソコンやインターネットを利用して教育や学習を行うことを意味しています。」

総合教育センターでは、初任者研修や10年経験者研修などで、事前にインターネット上に公開された資料を読んだり、動画を視聴したりしてから集合研修を受ける形の研修も行っています。

研修の理解を深める
どんな研修が行われるのかを事前に知り、研修の見通しを持つことで、研修に対する意欲付けができることも、eラーニングの効果の一つです。

高校初任者研修「教育の情報化」では、事前に

「ICTを活用した授業実践ビデオ」を視聴した上で講義を受けてもらいました。

研修終了後には、実践例を見ることができ、イメージがしやすく理解が深まった「講義とビデオの内容が一致していて、理解しやすく感じた」などの感想がありました。

事前にeラーニングをしてもらうことで、研修の理解を深めることにつながっています。

この、eラーニングは、自分の時間に合わせて研修をすることができ、反面、学校で視聴しにくいなどの感想もいただいています。

そのため、短時間でポイントをつかんでもらえる内容を増やしています。

初任者研修や特別支援教育チーフ・コーディネーター研修、マネジメン ト研修など、多様な研修にeラーニングを組み合わせてあります。研修員が学校で視聴できる環境を整えることにより、教職員の多忙化解消の手立ての一つになると考えています。

よりよい資料の提供と研修の充実に向け、これからも総合教育センターは取り組んでいきます。

【総合教育センター 総務企画課企画班】

平成27年4月開校 「浜松湖北高校」校章募集!

引佐高校、気賀高校、三ヶ日高校の3校を再編整備して開校する静岡県立浜松湖北高校の校章を、皆さんから募集しています。浜名湖北岸の雄大さや季節の移り変わりの美しさ、新しい高校の価値観をイメージできる校章案をお待ちしています。

■応募方法

- 次の事項を明記し、はがき又は所定の応募用紙(3校のホームページに掲載されています)を郵送又はファックス。
- 校章案(応募用紙1枚に1案、5cm×5cmのデザイン)
- 校章の説明(理由やイメージなど)
- 住所、氏名、電話番号

■募集締切 平成26年6月10日(火)(必着)

■採用者賞 採用者には、決定次第直接連絡します。また、記念品を贈呈します。

■問合せ・応募先

- 浜松湖北高校校章選定委員会
- 引佐高校内
住所 〒431-2213 浜松市北区引佐町金指1428
TEL053(542)0016 FAX053(542)1466
- 気賀高校内
住所 〒431-1302 浜松市北区細江町広岡1
TEL053(523)1035 FAX053(522)1436
- 三ヶ日高校内
住所 〒431-1416 浜松市北区三ヶ日町約78-1
TEL053(525)0103 FAX053(525)0426

【高校教育課総務企画班】

家庭も学校も 同じ気持ちで!

教育相談実践研修 センター新規研修

子どもの心身の健全な成長を支援する教育相談から、保護者より良好な人間関係を築いていくための研修です。家庭も学校も同じ気持ちで子どもに関わることで、何倍もの教育的効果が子どもに表れることを期待します。

研修の内容

- 講義「教育相談について」
- グループワーク
「教育相談上の課題や困難事例について」
- 講義・演習
「保護者とのより良好な人間関係を築くための教育相談の実際」

■開催日 平成26年10月21日(火) 1日
■対象 教員(幼・小・中・高・特)

■募集締切 平成26年6月5日(木)必着
定員に満たない場合は、随時追加受付を行います。

詳しくは、「平成26年度研修ガイドブック」を御覧ください。

総合教育センター
総務企画課企画班
TEL0537(24)9706



県立中央図書館子ども図書研究室講演会 絵本がつなぐ世界のひとびと

県立中央図書館子ども図書研究室は、平成26年6月18日で開室10周年になります。そこで、開室10周年を記念し、6月11日から6月29日まで国際図書館連盟の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」によって集められた様々な国の絵本を展示します。また、展示期間中、プロジェクトの発案者でもある依田和子さんをお招きして、この活動を通して感じた世界の国々の絵本の様々な魅力について講演いただきます。

〈講演会〉

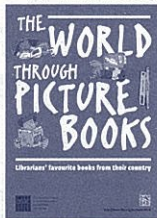
- 日時 平成26年6月22日(日)午後1時から3時
- 会場 県立中央図書館講堂
- 講師 依田和子さん
(前国際図書館連盟児童・ヤングアダルト分科会常任委員)

■対象

高校生・大学生一般
(定員 先着200人)

■申込方法

氏名、電話番号を電話、FAX、Eメールで。



絵本で知る世界の国々展開催 6/11~6/29

■問・中

県立中央図書館企画振興課
TEL054(262)1246
FAX054(264)4268

E-mail webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

EDITOR

大型連休の期間中、浜名湖花博2014に行ってきました。天気にも恵まれ、過ごしやすい暑気度多くの人々にぎわっていました。園内では、船に乗り、心地よい風を感じながら、周りの花を見たり、木漏れ葉を見ながらランチを食ったりと、楽しい日々を過ごしました。

様々な見所がありました。一面

県内に キャンプ禁止 区域があることを 知っていますか?

「キャンプ禁止条例」

自然の中で過ごすキャンプは、とても楽しい活動ですが、ルールを守らない行動は、周辺地域の人々に大変な迷惑を掛けることとなります。

静岡県では、キャンプを行う皆さんの安全と、地域及びその周辺における良好な環境を保持するため、条例により、一定期間、特定の地域におけるキャンプを禁止しています。

この条例において「キャンプ」とは、野外においてテント、その他簡易な用具を用いた宿泊を伴う行為を指します。

これらの説明及びキャンプ可能施設等を紹介したリーフレットを、各市町や該当地域の道の駅などで配布しています。また、県教育委員会ホームページからも御覧いただけます。

皆様の御協力をお願いします。

〇浜松市天竜区春野町地内の気田川本支流が指定されています。これらの区域には、キャンプを禁止する旨を記した白い柱や看板が設置されています。

キャンプ禁止区域のご案内

本リーフレットではキャンプ可能施設を紹介しています

〇伊豆半島の海岸の一部



cap

bibs

blouson

apron

raglan

jacket

towel

parka

bag

文化祭・体育祭など 各イベントでご利用ください。卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ **グッズ**

〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。
Tel.054-285-6502
〒422-8066 静岡県駿河区泉町5-33-1F
Fax.054-286-3041